

疑問…
（この格好…
私は一体何を…？）

これはうちの村に
伝わる由緒正しい祭り

えちえち
種付け豊穰祭
の伝統衣装だ

村の繁栄のシンボルとして
巫女に雌牛の格好をさせて
種付けの儀式を行う

六竜のガレランさんが
協力してくれるんなら
きっとこの村の繁栄は
約束されるはず…

どうか協力
してくれねえか

協働…
（それなら分かりました…
可愛い大地の愛し子のためなら
六竜のガレラン、
ぜひ協力いたしましょう）





快諾してくれたい
ありがとう

それじゃ
えちえち
種付け豊穰祭の
手順を説明するぞ

男の精液を
搾り取り：

聖杯をいっぱい
満たすまで
集めるんだ

理解：
（おち○ぽ様に
お祈りと祝福を…♡）

確認：
（こう…ですか…♡
お口の中が
ドロドロしますね…♡）

うむ
その通り

さすが
ガレヲンさんだ

それじゃ
こっちの穴も
使わせて
もらうぜ

よろしくな

おお
ガレヲンさんの
祝福を受けて
早速出てしまった

ほら
ここにザーメンを
吐き出すんだ

ジュウ
ジュウ

こぼすん
じゃないぞ



承諾…♡
（おま○こで存分に
チ○ポしごいで…
精液びゅっびゅっ
出してください…♡）

どろろ…

ケツの肉の
ポリユーム感が凄いな

両手で掴んでも
有り余る

この格好：
おち○ぽの刺激が体重に
乗っかって全身に響きます…

おい
股開いて
ま○こから
精液ひり出せ

おら
二発目いくぞっ

絶頂…♡
(子宮に精液が…♡
どくどく溢れる
のを感じます…♡)

中出しアクメ
キメてんじゃねーぞ

孕みたがりの
雌牛がッ

羞恥…
(中出しされて絶頂を迎えた
性器を見せつけるのは…
やはり恥ずかしいですね…)



おらへばんなよ
次だ次ッ

ドス

いんお

ドス

お

お

ドス

ドス

ドス

ドス

獣みてえな
声出して
六竜の名が
泣くぞッ

サッ

サッ

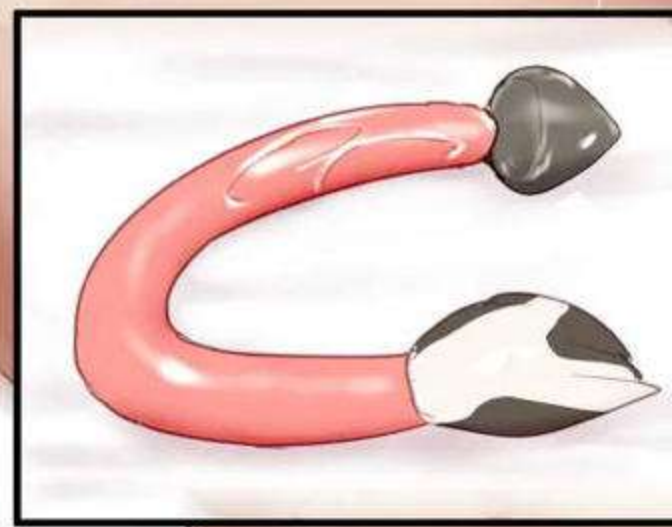
ほら
もっと股開かねえと
ザーメン出てこねえぞ

テメエの
本気汁と混ぜって
ドロドロに
なってんだからよ

プン

専心…
(精液を器から溢さないよう
気をつけねば…しかし
おま〇こに集中すると
感じすぎてしまいます…)

プン



次は
ケツに出すぞ

このデカケツを
かき分けてチ○ポ
ねじ込むのが
タマンねえな

おい
ケツハメで蕩けてる
マヌケ顔見せろ
ってんだよ

なんだこの
ドスケベなツラは

自分でケツの穴
ほじってケツマ○コ
開発でもしてたのかッ

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

背徳…
(感じちゃいけない
穴なのに…ッ♡気持ちよく
なっちゃう…ッ♡)

めい

懺悔…♡
(ケツマ○コで
アクメキめる変態竜で
ごめんなさい…♡)

ほらケツ穴に
ザーメン
ブチ込むぞッ

戦慄…♡
(お腹の奥にアツいのが
広がっていく…♡
気持ちよすぎてカラダが
精液を勝手に
飲み込んでしまう…♡)

容赦なく
搾り取ってきやがるな
この雌牛のケツマ○コはッ



おおっケツが
震えてら

絶句…
(この快感…♡
全身が痺れてます…♡
ケツアクメが
細胞に染み込んで
いきます…♡)



ケツが飲み込んだ
精液
ちゃんとひり出せよ

ったく
とんでもねえ量
持ってきやがったな



解放…♡
(お尻の力が
全く入らない…♡
肛門から漏れるように
溢れてしまってます…♡)

充足…
(しかしこれで器は
満杯になりましたか…
巫女としての役割
果たせたようですね…)

いや
実はまだ
最終段階が
残っているんだ

質疑…
(はて…
それは一体…?)



それはな
ガレランさん

集めた精液を
子宮に全部ブチ込むんだ

き…驚嘆…♡
(ああ…この快楽を
刻み込まれたこのカラダに
さらなる快感が…♡)

ただし…この精液は
聖杯の力で活性化されてるから
お前の子宮を内側から
ブン殴るように暴れるぞ

ほとんどの巫女は
コイツの快楽に
狂っておかしく
なっちゃった

ただ六竜のアンタなら
もしや…耐えられるかもな

覚悟…
(ああ…特異点よ…
一体私は耐えられるの
でしょうか…♡)



半日後…

蔵に閉じ込めてみたが様子はどうか？
…っすげえ雌臭え匂いだ

ゼクン

ゴゴゴ

ゼクン

ゼクン

ゼクン

ビガッ

ビクン

ビクン

封

気は確かみたいだ
さすが六竜ってとこだ
ただずっとアクメしてるよ

ま もう暫くしたら
精液が身体に
吸収されるだろ

そんなときや
妊娠も確実に
してると思うが
村の繁栄のためだ

頼むぜ
ガレランさん

暴れられたら敵わないから
特殊な呪符と縄で
縛り付けてはいるがな